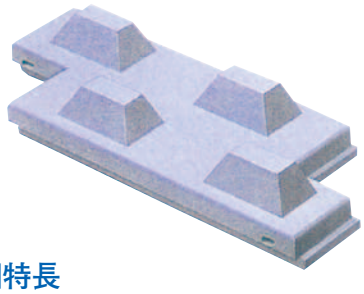
ターフロック（覆土工法）証



■特長

1. ブロックは大型化されており、建設機械を利用することにより、大幅な省力化ができ、工期が短縮されます。

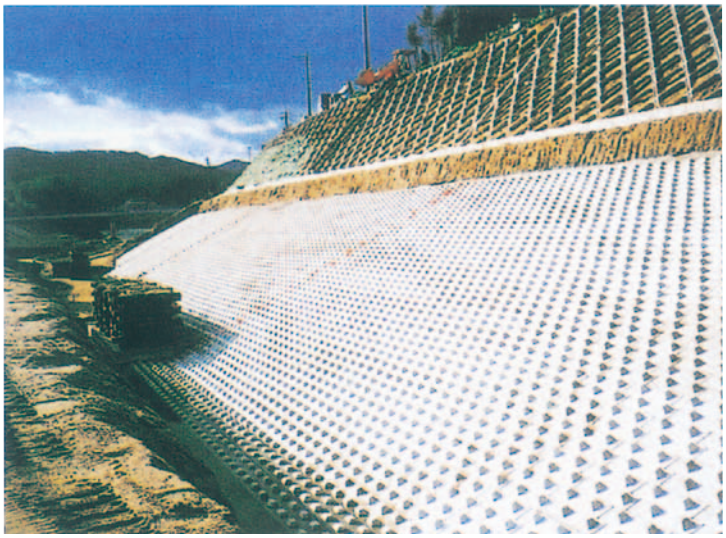
2. ブロックは、地盤の変化に対して、縦方向（法長方向）および横方向（延長方向）に適度の屈撓性を発揮します。

3. ブロックの凸部は、被覆土のすべり出しを抑制し、流速低減の粗度としても有効に作用します。

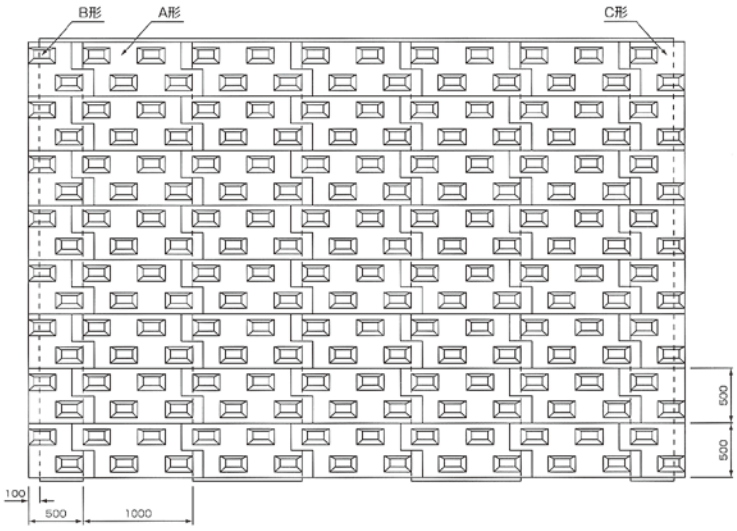
4. ブロックの合端部は、防水シートの耐候性をそこなわない係合構造となっており、防水シートの劣化を防ぎます。

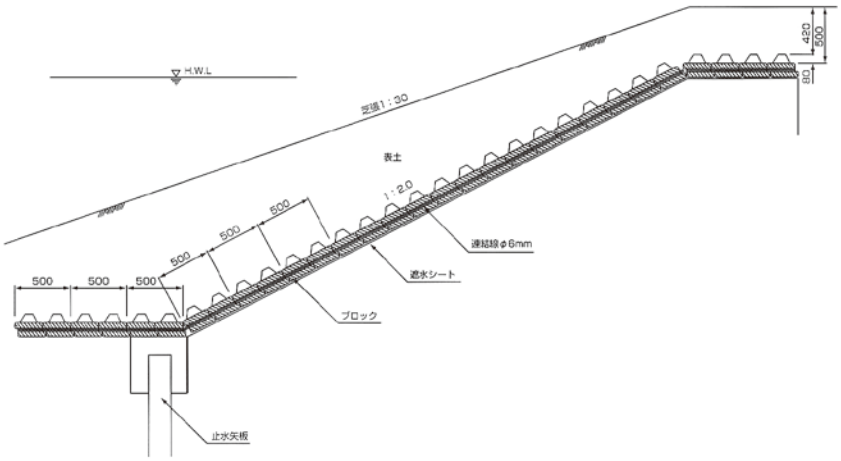
5. ブロック底面部は、施工時等における防水シートの亀裂を防ぐ形状になっています。

6. ブロック単体は、重量が大きく、また、配列されたブロックは、連結によってマット状に一体化されますので、掃流力に対して安定します。



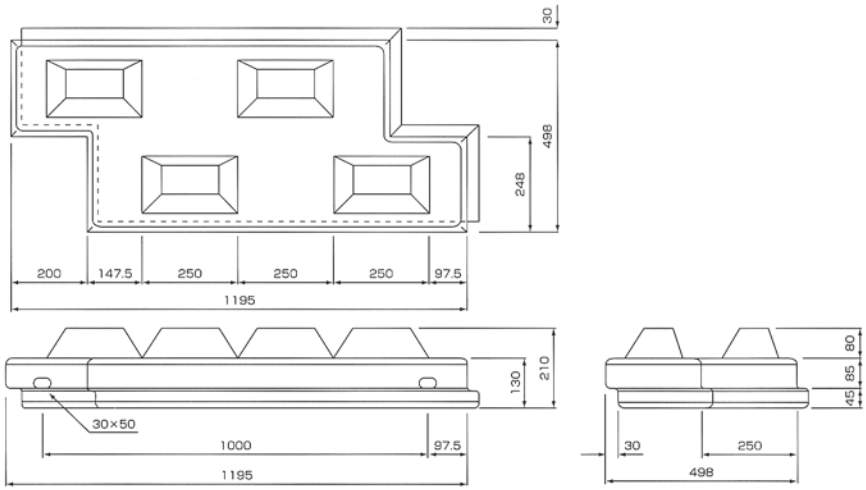
黒瀬川（覆土前）



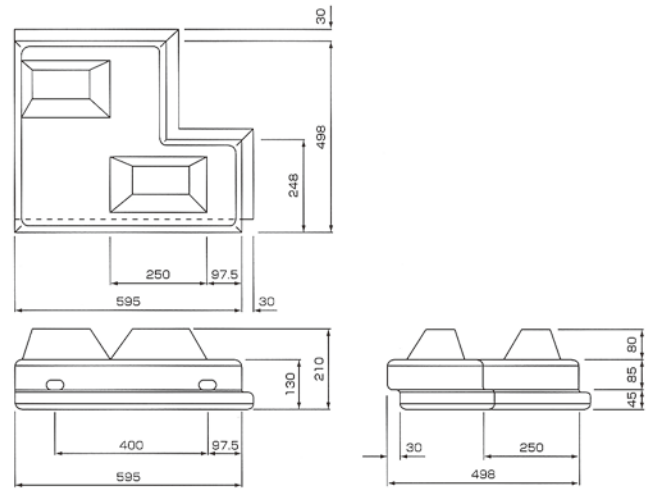


A 形

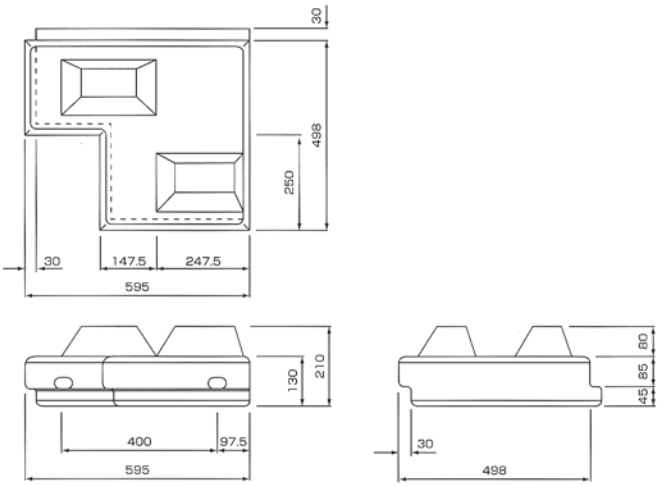
規格寸法図〔300型〕



B 形



C 形



呼び名	参考質量 (kg)	単　価 (円)	主要部寸法（mm）	使用数 (個/m²)	備　　考
A　　形	161.9	4,680	1,195×498×210	2	参考質量 323.8kg/m²
B　　形	80.0	2,320	595×498×210		
C　　形	76.8	2,230	595×498×210		